

## Dream 6-7 「夢宣言」をしよう

<Lesson 8 What do you want to be? (職業, 将来の夢) >

### <単元の目標>

○積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○職業を表す語や, どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

【外国語への慣れ親しみ】

○自分の周りには様々な夢を持つ同年代の子どもがいることを知り, 英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して, 言葉の面白さに気付く。

【言語や文化に関する気づき】

### <単元の評価基準>

○相手意識を持って, 自分の将来の夢について紹介したり, 友だちの発表を積極的に聞いたりしている。

○職業を表す語を聞いたり言ったりしている。

○就きたい職業について尋ねたり答えたりしている。

○自分の周りには様々な夢を持つ同年代の子どもがいることや, 職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付いている。

### <主な使用表現>

- ・ What do you want to be? I want to be a teacher. I want to ~.
- ・ doctor, cook, farmer, florist, singer, firefighter, soccer player, bus driver, cabin attendant, vet, zookeeper, comedian, baker, dentist, artist などの職業名

### <単元計画 (5時間【(1~3時) 6モジュール+ (4, 5時) 2時間】)>

時	目標と主な活動	評 価				
		コ	慣	気		
1 本 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して, 言葉の面白さに気付く。</li> <li>・職業を表す語に慣れ親しむ。</li> </ul>			◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付いている。</li> <li>・職業を表す語を聞いたり言ったりしている。</li> </ul>	行動観察 振り返りカード分析
	A <ul style="list-style-type: none"> <li>○職業を表す言い方を知ろう。</li> <li>・「この人の職業は？」</li> <li>・「いろいろな職業の言い方を知ろう。」</li> </ul>			○		
	B <ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな職業名を言おう。</li> <li>・「いろいろな職業の言い方を練習しよう。」</li> <li>・「職業カルタ」</li> <li>・「他の職業名も言ってみよう。」</li> <li>・「職業当てクイズ」</li> </ul>					

2	<p>どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <hr/> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○なりたい職業を尋ねたり答えたりする表現を知ろう。</li> <li>・「なりたい職業の言い方を知ろう。」</li> <li>・「なりたい職業を尋ねる表現を知ろう。」</li> <li>・【Listen】だれの夢か考えよう。</li> </ul> <hr/> <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○友だちの夢をたずねてみよう。</li> <li>・【Chant】What do you want to be?</li> <li>・【Play】友だちに夢についてインタビューしよう。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就きたい職業について尋ねたり答えたりしている。</li> </ul>	<p>行動観察 振り返りカード分析</p>
3	<p>どのような職業に就きたいかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <hr/> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の夢を英語で言おう。</li> <li>・【Chant】What do you want to be?</li> <li>・【Activity】3人の夢宣言を聞いて、メモをとろう。</li> <li>・「自分の夢と、その職業になりたい理由を考えよう。」</li> </ul> <hr/> <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「夢宣言」の準備をしよう。</li> <li>・「分かりやすく伝える順番を考えて、『夢宣言』の原稿を完成させよう。」</li> <li>・「発表の練習をしよう。」</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就きたい職業について尋ねたり答えたりしている。</li> </ul>	<p>行動観察 振り返りカード分析</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。</li> <li>・自分の周りには様々な夢を持つ同年代の子どもがいることを知る。</li> </ul> <hr/> <p>○自分の思いが伝わる「夢宣言」をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発表方法の確認をしよう。」</li> <li>・「夢宣言」</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手意識を持って、自分の将来の夢について紹介したり、友だちの発表を積極的に聞いたりしている。</li> </ul>	<p>行動観察 振り返りカード分析 行動観察 振り返りカード分析</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。</li> <li>・自分の周りには様々な夢を持つ同年代の子どもがいることを知る。</li> </ul> <hr/> <p>○自分の思いが伝わる「夢宣言」をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「夢宣言（続き）」</li> <li>・『人物当てカルタ』をしよう。」</li> <li>・「先輩たちの将来の夢を知ろう。」</li> <li>・「夢宣言の原稿を清書しよう。」</li> </ul> <p>*清書した原稿は、図画工作科の作品や写真などとともに展示する。</p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の周りには様々な夢を持つ同年代の子どもがいることに気付いている。</li> </ul>	<p>行動観察 振り返りカード分析 行動観察 振り返りカード分析</p>

## Dream 6-7 「夢宣言」をしよう

第1-1時 モジュールA (20分)

目標：英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付く。

準備：絵カード、文字カード、デジタル教材 (Hi, friends! 2)

過程	学習活動 ◎語句への慣れ親しみ ☆文への慣れ親しみ	指導上の留意事項 (◇) ◎語句への慣れ親しみ ☆文への慣れ親しみ ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て ☆めざす子どもの姿	評価基準 [評価方法]
導入	<p>○挨拶をする。</p> <p>◎4線に書かれた月日・曜日・天気 の絵と文字のカードを見て確認する。 ・現在の時刻も尋ねる。</p> <p>○本時のめあてを知る。</p>	<p>◇はっきりとした声で、気持ちのよい挨拶を交わす。</p> <p>◎音声と文字が結びつくように、カード提示後再度発音させる。</p>	
展開	<p>○「この人の職業は？」 ・有名人やアニメのキャラクターの写真や絵を見て、職業を言う。 ・その職業の英語での言い方を知る。</p> <p>○「いろいろな職業の言い方を知ろう。」 ・絵カードを見ながら、職業名を言い、言い方に似たところがないかなどを探す。</p> <p>◎答えた後に英語のつづりを見て、確認する。 ・カードで提示したもの以外でも、共通点のあるもので知っている職業名を発表する。</p>	<p>◇外来語などで自分が知っているものをあげさせながら、英語での言い方を紹介する。</p> <p>◎語尾を意識的に強く発音し、文字も提示して-er, -istなどの共通点があることに気付かせるようにする。 ◆黒板にカードを貼る際に、分類しながら貼り、共通点に気付かせる。 ◇日本語でも語尾が「～士」「～家」などの共通点があることに気付かせる。</p>	<p>・職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付いている。 【気】[行動観察・振り返りカード点検]</p>
まとめ	<p>○本時の活動をふり返る。</p> <p>○挨拶をする。</p>	<p>◇児童の英語に対する気付きや、英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。</p> <p>◇Hi, friends!2 P53,55 の職業カードを切り取ってくるように声かけを行う。</p>	

職業を表す言い方を知ろう。

★【めざす子どもの姿】

- ・職業を表す語の音の共通点や、日本語との共通点に気付いている。  
cook, soccer player, doctor, teacher, artist, florist  
最後の音が「アー」や「イスト」になっているものが多い。  
日本語でも「～家」や「～士」の共通点がある。

## Dream 6-7 「夢宣言」をしよう

第1-2時 モジュールB (25分)

目標：職業を表す語に慣れ親しむ。

準備：絵カード、文字カード、ICT教材、ワークシート

過程	学習活動 ◎語句への慣れ親しみ ☆文への慣れ親しみ	指導上の留意事項 (◇) ◎語句への慣れ親しみ ☆文への慣れ親しみ ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て ☆めざす子どもの姿	評価基準 [評価方法]
導入	<p>○挨拶をする。</p> <p>◎4線に書かれた月日・曜日・天気 の絵と文字のカードを見て確認する。 ・現在の時刻も尋ねる。</p> <p>○本時のめあてを知る。</p>	<p>◇はっきりとした声で、気持ちのよい挨拶を交わす。</p> <p>◎音声と文字が結びつくように、カード提示後再度発音させる。</p>	
展開	<p>○「いろいろな職業の言い方を練習しよう。」 ・絵カードを見ながら、前時に学んだいろいろな職業名を言う。</p> <p>○「職業カルタ」 ・ペアになり、Hi, friends!2 P53,55の職業カードを机に広げる。 ・指導者の言うカードを取るカルタ取りゲームを行う。</p> <p>○「他の職業名も言ってみよう。」 ・中学校の英語教科書のコピーワークシート(Sunshine 2 P156,157)を見ながら、まだ出てきていない職業名を言う。</p> <p>○「職業当てクイズ (スリーヒントクイズ or ジェスチャークイズ)」 ・指導者が出すスリーヒントクイズとジェスチャークイズを聞いたり見たりして、何の職業かを英語で言う。 ・児童数名が前に出てクイズを出す。</p>	<p>◇前時に学んだことを思い出させ、語尾を意識させながら言わせる。</p> <p>◇カードを取った後で全員に繰り返して職業名を言わせ、慣れ親しませる。</p> <p>◇「What do you want to be? 自分のなりたい職業はこの中にあるかな？」などと問いかけながら、まだ出てきていない職業名に興味を持たせる。</p> <p>◇スリーヒントクイズでは、その職業に関連する既習の単語を言い、推測させる。 ◆ヒントカードを準備し、問題を出したいがヒントが思いつかない児童を支援する。</p>	<p>・職業を表す語を聞いたり言ったりしている。</p> <p>【慣】[行動観察・振り返りカード点検]</p>
まとめ	<p>○本時の活動をふり返る。 ・振り返りカードを書く。</p> <p>○挨拶をする。</p>	<p>◇児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめ、自分のなりたい職業名が言えるようになろうと声かけを行う。</p>	

いろいろな職業名を言おう。

**★【めざす子どもの姿】**  
 ・職業を表す語を聞いたり言ったりしている。  
 cook, soccer player, doctor, teacher, artist, florist  
 (I want to be a ) baseball player.